

# 令和4年度9月補正予算 参 考 資 料 ( 2 )

	頁	(補正予算資料) 頁
先進技術を活用した市町村のまちづくりの取組を促進します . . . . .	1	24
豊田加茂総合庁舎の整備を推進します . . . . .	2	24
P F I 手法による愛知県基幹的広域防災拠点の整備を推進します . . . . .	3	25
「災害時に人とペットが共生できる愛知」の実現を目指します . . . . .	4	26
「グローバル・インダストリー日本版」の開催に向け、 愛知県及び県内企業のP Rを行います . . . . .	5	26
農業分野が抱える喫緊の課題を解決するための 先駆的な研究開発を行います . . . . .	6	27
「矢作川カーボンニュートラルプロジェクト」の 個別施策の実現に向けた取組を推進します . . . . .	7	30

「中部・北陸フェア（仮称）」を開催します	8	31
中高一貫校（併設型）の中学校用施設を整備します	9	35
知的障害特別支援学校における教室不足を解消します	10	36
大府警察署（仮称）新設に向けた調査を実施します	11	36
交通死亡事故抑止に向けて、交通安全対策を推進します	12	37

# 先進技術を活用した市町村のまちづくりの取組を促進します

政策企画局企画調整部  
企画課企画第三グループ  
内線 2592・2591  
(ダイヤル)052-954-6472

予算額 20,000千円  
(既決予算額 30,222千円→補正後 50,222千円)

県内市町村を対象に、ICT等の先進技術を活用したスマートシティのモデルとなる取組を追加公募・支援し、その成果について他の市町村へ横展開を図ります。

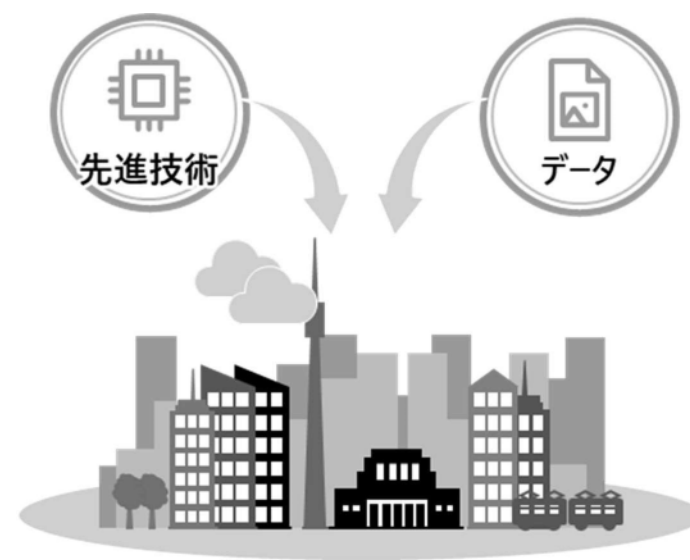
## ○ スマートシティモデル事業

県が、市町村と企業等からなるコンソーシアムから、先進技術を活用したまちづくりの社会実験に関する提案を追加公募し、優れた提案を選定・事業委託します。

- ・委託上限額：1コンソーシアムあたり10,000千円
- ・分野の例：モビリティ、エネルギー、通信・データ、医療・福祉・健康づくり など

スマートシティとは：

ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、諸課題の解決を行うとともに、新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域



# 豊田加茂総合庁舎の整備を推進します

総務局総務部総務課  
総務・人事・広報グループ  
内線 2109・2108  
(ダイヤル) 052-954-6021

債務負担行為 3, 907, 426千円

豊田加茂福祉相談センターを集約した、豊田加茂総合庁舎の一部木造による整備を進めます。

## 【事業概要】

- ・ 県産木材の計画的な調達を図り、民間が持つ特殊技術や施工方法の提案を有効活用するため、設計及び施工を一括して発注するデザインビルド方式で整備
- ・ 整備に当たっては、木材利用や太陽光発電設備の設置等、SDGsや脱炭素社会の実現に向けた視点を加味

## 【事業期間】

設計及び工事

2023年度～2026年度

## 【2022年度の予定】

設計及び工事を行う事業者の選定

- ・ 入札説明書等の公表
- ・ 提案書の受付
- ・ 落札者の決定・公表



出典：国土地理院

## 【整備対象施設】

- 豊田加茂総合庁舎  
場 所 豊田市元城町地内  
〔現在の場所で機能を維持しながらの建替え〕  
敷地面積 5, 927. 65㎡
- 豊田加茂福祉相談センター  
場 所 豊田市元城町地内  
敷地面積 1, 267. 34㎡

# PFI手法による愛知県基幹的広域防災拠点の整備を推進します

債務負担行為 18,718,344千円

防災安全局防災部防災危機管理課  
防災拠点推進室  
内線 5455・2524  
(ダイヤル)052-954-7478

PFIにより、民間のノウハウや創意工夫を最大限に活用し、愛知県基幹的広域防災拠点の施設整備・管理運営を実施します。

## 愛知県基幹的広域防災拠点整備事業費

### 【事業方式】

- BT (Build Transfer) + コンセッション方式  
事業者が自らの提案をもとに施設の設計・建設を行った後、県に施設の所有権を移転する方式。(BT (Build Transfer))  
施設の維持管理・運営については、県が事業者に対して、公共施設等運営権 (コンセッション) 方式により、運営権を設定。  
維持管理・運営で発生する費用について、県が一定額を負担。(混合型)

### 【事業期間】

- |         |               |
|---------|---------------|
| 設計・建設   | 2023年度～2025年度 |
| 維持管理・運営 | 2026年度～2045年度 |

### 【2022年度の予定】

- ・実施方針の公表
- ・入札説明資料等の公表
- ・提案書の受付

## 【愛知県基幹的広域防災拠点の概要】

- 場所：豊山町青山地区  
面積：約19ha



## 公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例の制定

- 【目的】公共施設等運営権制度を導入するため、公共施設等運営権に係る実施方針に関して必要事項を定める。  
【内容】民間事業者の選定の手続、運営の基準、業務の範囲、利用料金に関する事項

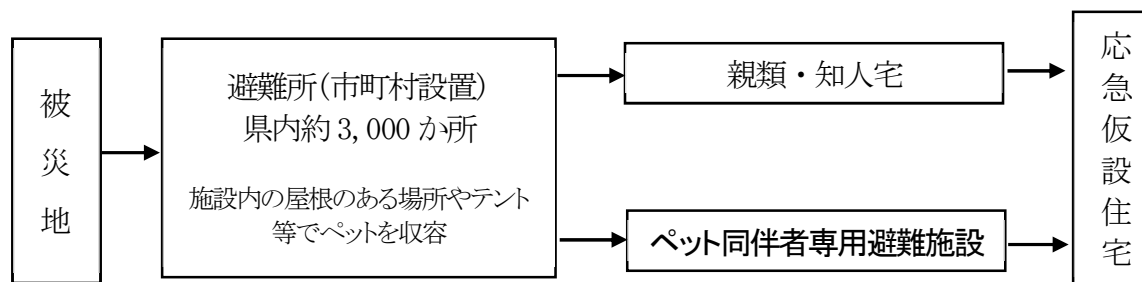
# 「災害時に人とペットが共生できる愛知」の実現を目指します

予算額 4, 190千円（新規）

防災安全局防災部災害対策課  
支 援 グ ル ー プ  
内 線 2 5 6 5 ・ 2 5 6 6  
(ダイヤルイン) 052-954-6149

災害時に、飼い主の方々がペットを理由に避難をためらうことなく、安心して避難生活を送ることができ、ペット同行避難が当たり前となる環境づくりに向けて、ペット同行避難対策のあり方の検討やペット同伴者専用避難施設の事業化可能性の調査を行います。

- 大規模災害の被災地での課題や先進事例の調査
  - ・ 被災地におけるペット関連の課題
  - ・ ペット同行避難対策に先進的に取り組む自治体の事例
- ペット同行避難対策の推進に向けた検討
  - ・ 災害時のペット同行避難の備えに向けたペットの飼い主への啓発
  - ・ 避難者を受け入れる市町村の取組の促進策
- ペット同伴者専用避難施設の検討
  - ・ 大規模災害時に、ペット同行避難ができる専用の避難施設及びその平時利用のあり方



# 「グローバル・インダストリー日本版」の開催に向け、 愛知県及び県内企業のPRを行います

予算額 22,590千円（新規）

経済産業局産業部産業振興課  
グローバルインダストリーグループ  
内線 2252・2253  
(ダイヤルイン)052-954-6374

欧州最大級の国際産業展「グローバル・インダストリー」に、愛知県ブースを出展し、2024年3月に開催予定の「Smart Manufacturing Summit by Global Industrie（グローバル・インダストリー日本版）」の開催地としてPRを行い、出展・来場の契機を創出します。

## 愛知県ブース（66㎡）

- ・愛知県の地域特性や産業構造、産業施策等のパネル展示
- ・愛知県と県内企業（10社程度）の共同出展  
（県内企業の出展料は無料）

### <グローバル・インダストリー概要>

- 開催時期  
2023年3月7日～3月10日（4日間）
- 開催場所  
ユーロエキスポ（フランス・リヨン）
- 主催  
GLEvents
- 出展企業数（想定）  
約2,300社

### <Smart Manufacturing Summit by Global Industrie （グローバル・インダストリー日本版）概要>

- 開催時期  
2024年3月（予定）
- 開催場所  
愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」
- 主催  
GLEvents
- 出展企業数（想定）  
約250社



グローバル・インダストリー（リヨン）（2021年9月）

# 農業分野が抱える喫緊の課題を解決するための先駆的な研究開発を行います

予算額 53,557千円

農業水産局農政部農業経営課  
技術調整グループ  
内線 3667・3663  
(ダイヤルイン)052-954-6410

あいち農業イノベーションプロジェクトでは、農業総合試験場と大学、スタートアップとの連携によってイノベーションを創出し、農業の課題を解決することを目指して、スタートアップから新たな技術の提案を募集しました。

提案の中から早期社会実装の可能性が高い技術を選定し、農業分野が抱える喫緊の課題を解決するため、共同研究を先行実施します。

## スタートアップから提案された主な技術提案

### テーマ1 土地利用型作物のスマートモデルの実現

・人工衛星やドローンで取得する画像の解析データとAIを用いた  
営農支援

・収穫や除草などの支援ロボット など

### テーマ2 データ駆動型施設園芸モデルの実現

・植物体の診断や生育環境などのリモート管理

・栽培管理作業の負担を軽減するロボット など

### テーマ3 持続可能な畜産モデルの実現

・画像や鳴き声などセンシングデータを活用したIoT飼養管理 など

### テーマ4 テクノロジーで魅せる愛知ブランドの実現

・最先端の育種技術を応用した品種の開発

・機能性成分を評価する技術 など

### テーマ5 未来へ繋げるサステナブル農業の実現

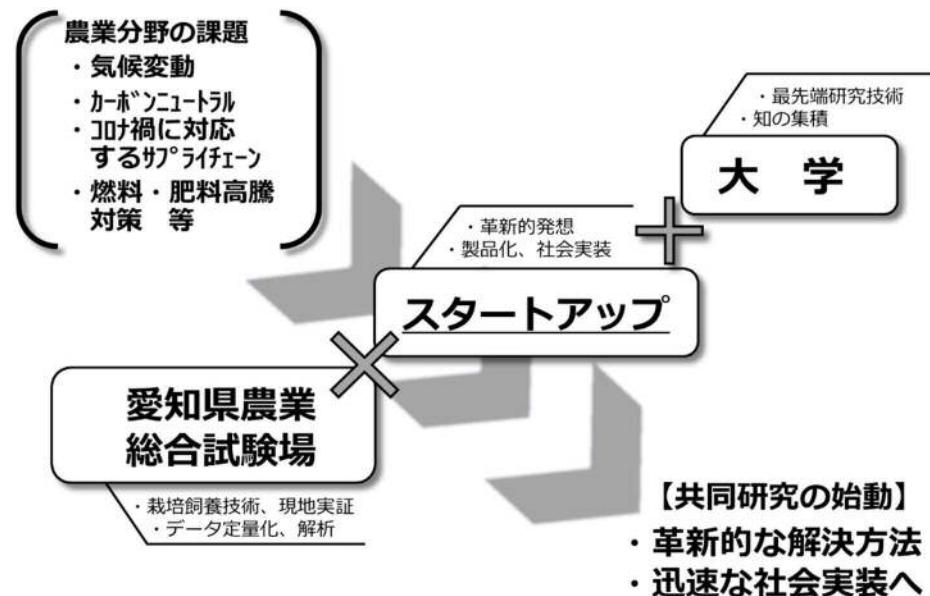
・肥料価格高騰に対応するIoT土壌管理技術

・燃料高騰に対応する新しい温室の保温技術

・カーボンニュートラルを目指した二酸化炭素の有効活用技術 など

### テーマ6 デジタルで結ぶスマートサプライチェーンの実現

・有機農業や環境保全型農業などに取り組む生産者と消費者をつなぐデジタルツール など





# 「矢作川カーボンニュートラルプロジェクト」の 個別施策の実現に向けた取組を推進します

建設局土木部河川課  
企画グループ  
内線 2724・2725  
(ダイヤル)052-954-6553

予算額 20,000千円

(既決予算額 10,000千円→補正後 30,000千円)

矢作川CN（カーボンニュートラル）プロジェクトの個別施策の実現に向けて、技術面などからの検討を進めます。

## 矢作川CNプロジェクト施策推進検討業務

### 【検討概要】

#### 1 ダム群の高度利用による発電力の増強

国で試行しているダムの運用高度化の事例を収集するとともに、矢作川流域のダムの現状の運用実態を調査する。そのうえで、矢作川流域のダム群で運用高度化の可能性について検討する。

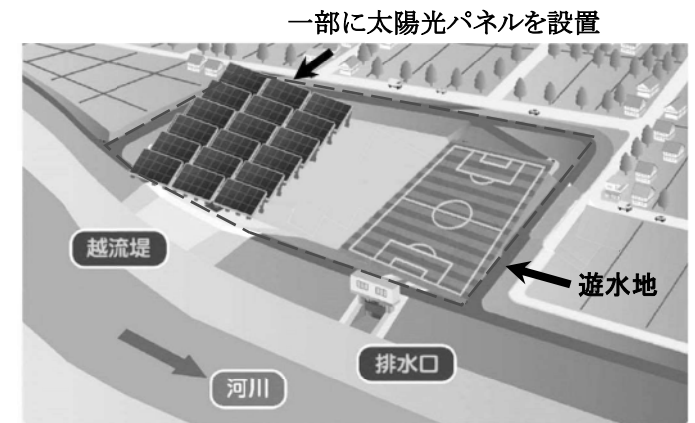
#### 2 遊水地を利用した太陽光発電施設の設置

遊水地を利用した太陽光発電施設設置について、県で整備を進めている菱池遊水地をモデルに、構造の検討や民間導入にあたっての課題の整理を行う。

#### 3 建設業におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減検討

多くのCO<sub>2</sub>を排出する建設工事について、低炭素型建設機械やCO<sub>2</sub>吸収型材料などの情報収集を行い、採用に向けての検討を進める。

### 遊水地を利用した太陽光発電設置イメージ



平常時はグラウンド等として利用

洪水時は越流堤から河川水が流入し遊水地として機能

### 参考: 矢作川CNプロジェクトとは

○矢作川流域をモデルケースとし、“水循環”をキーワードに、再生可能エネルギー等の導入による国土強靱化をはじめ、森林保全・治水・水道からエネルギーまでを含め、官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を目指す。

# 「中部・北陸フェア（仮称）」を開催します

都市・交通局都市基盤部公園緑地課  
協働グループ  
内線 2618・2611  
(ダイヤルイン)052-954-6491

債務負担行為 15,950千円（新規）

ジブリパークのある愛・地球博記念公園（モリコロパーク）において、「あいち市町村フェア」（期間：2022年11月11日～12月18日の週末）に引き続き、中部・北陸地域の飲食物・特産品の販売などを行う「中部・北陸フェア（仮称）」を開催します。

あいち市町村フェアとあわせ、この催しを国内外から訪れるお客様に楽しんでいただき、多くの来園者にリピーターとなっていただくとともに、ジブリパークのファン拡大につなげてまいります。

## 【フェアの概要】

- 日程：2023年3月～4月の週末（4週程度）
- 場所：愛・地球博記念公園（モリコロパーク）  
北口エリア  
（地球市民交流センター、イベント広場）
- 出展者：中部・北陸9県（愛知県、岐阜県、三重県、  
（予定）静岡県、長野県、富山県、石川県、福井県、  
滋賀県）、名古屋市及び観光団体、経済団体、  
農業団体など
- 内容：飲食物・特産品販売、ステージイベントなど

会場付近図



地球市民交流センター



イベント広場

## 中高一貫校（併設型）の中学校用施設を整備します

予算額 77,429千円（新規）

（外に債務負担行為 5,269,928千円（既決予算5,576,705千円→9月補正後10,846,633千円））

2025年4月に開校する併設型中高一貫校（第一次導入校）に必要な中学校校舎等を整備します。

### ○ 場所

明和高等学校・津島高等学校・半田高等学校・刈谷高等学校の敷地内

### ○ 整備内容

#### ・4校共通

中学校校舎 普通教室、特別教室、管理諸室  
体育館

#### ・明和高等学校

音楽棟、音楽ホール

### ○ スケジュール

#### 【明和高等学校に併設する中学校】

・設計・施工一括発注(デザインビルド)方式で、高校の教室棟の改築にあわせて整備

・設計及び工事 2022年度～2027年度

※新校舎は2026年11月供用開始（2025年4月～2026年10月は仮設校舎）

#### 【津島・半田・刈谷高等学校に併設する中学校】

・基本設計 2022年度

・実施設計 2023年度

・工事 2023年度～2024年度

#### <中高一貫校の概要>

- ・第一次導入校 明和、津島、半田、刈谷
- ・併設中学校1学年の学級数 1学年2学級（80人）  
※明和高等学校音楽科の併設中学は1学年1学級（20人）
- ・開校時期 2025年4月

# 知的障害特別支援学校における教室不足を解消します

予算額 84,574千円（新規）

教育委員会特別支援教育課  
指導グループ  
内線 3932・3933  
(ダイヤル)052-954-6798

尾張北西地区における知的障害特別支援学校の過大化による教室不足を解消するため、新校舎の増築に向けた基本設計を実施します。

## 1 小牧特別支援学校校舎の増築 54,081千円

一宮東特別支援学校の過大化による教室不足を解消するため、小牧特別支援学校に校舎を増築します。

※小牧特別支援学校は現在肢体不自由部門のみであるため、知・肢併置校となります（本県2校目）。

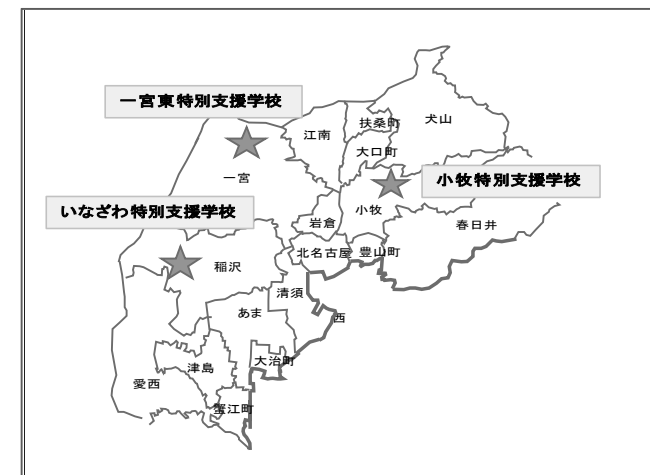
- 場 所 : 小牧特別支援学校敷地内（小牧市久保一色地内）
- 増築規模 : 校舎1棟（普通教室37室、特別教室、管理諸室）
- 供用開始予定 : 2026年4月
- 通学区域 : 犬山市、小牧市（一部）、大口町、扶桑町、豊山町

※犬山市、小牧市（一部）、大口町、扶桑町は、過大化している一宮東特別支援学校から移行。豊山町は、肢体不自由部門の通学区域（小牧特別支援学校）にあわせるため、いなざわ特別支援学校から移行。

## 2 いなざわ特別支援学校校舎の増築 30,493千円

いなざわ特別支援学校の過大化による教室不足を解消するため、同校に校舎を増築します。

- 場 所 : いなざわ特別支援学校敷地内（稲沢市一色森山町地内）
- 増築規模 : 校舎1棟（普通教室20室、管理諸室）
- 供用開始予定 : 2025年9月



# 大府警察署(仮称)新設に向けた調査を実施します

予算額 16,500千円(新規)

警察本部警務課  
電話 052-951-1611(代表)  
内線 2611・2623

知多半島における住民の利便性の向上及び災害時の活動拠点の役割を果たすため、大府警察署(仮称)の新設に向けた調査を行います。

## 【調査場所】

大府市月見町地内(大府市 市有地)

## 【調査内容】

- 敷地の現況及び周辺環境の現地調査
- 供給施設(電気、ガス、給排水等)の現状や条件の整理
- 敷地や施設に関する関係法令を含む各種法的規制の整理
- 基本設計に向けた建物配置計画・日影図の検討、地質調査内容の検討

現在



整備後



# 交通死亡事故抑止に向けて、交通安全対策を推進します

予算額 230,510千円

警察本部 交通規制課
電話 052-951-1611(代表)
内線 5161・5165

本県の厳しい交通事故情勢を踏まえ、交通事故多発交差点において、ドライバーや自転車利用者、歩行者の視認性を高め、交通事故抑止効果の高い信号灯器のLED化等の交通安全施設を緊急に整備し、交通安全対策を一層推進します。

## 1 信号灯器、道路標識・標示の整備 109,510 千円

- 信号灯器のLED化 353 灯
- 道路標識の更新 846 本
- 道路標示の更新 91.9 km

## 2 維持管理費 121,000 千円

